

## 2020（令和2）年度 事業報告

### 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

#### 中野区立かみさぎこぶし園

#### 東京都手をつなぐ育成会統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

#### 中野区立かみさぎこぶし園サブミッション

「利用者の人権と意思を大切にし、人と人との関わりを通して、健康で豊かな地域生活を安心して送れるよう支援します。」

### 1. 全体状況

令和2年度は、利用者及び職員の安心安全を確保するため、新型コロナウイルス感染症対策を推進した。各活動室内に空気清浄機を設置し、入り口には非接触手指消毒アルコールディスペンサーを取り付けた。その他にも、玄関自動ドアスイッチの非接触型への変更、飛沫防止パネルの設置などハード面での整備を進めた。それらと並行して、支援内容及び体制を見直した。万が一感染者が発生したとしても、濃厚接触者の発生を最小限に留めるために、食事配席の見直しやバス外出時の座席見直し等を行った。また、それらの記録を毎日保管しておくことで、いつでも振り返ることができ、迅速な対応が行えるように整備した。

様々なイベントが中止となり、利用者の楽しみであった外出行事が実施できていない状況が続いているが、少しでも利用者に楽しんでもらうために施設内で実施できるイベントとして「こぶしギャラリー」を企画し実施するなど、コロナ禍でありながらもメリハリのある日中活動の提供を行った。

## 2. 本年度重点目標に対する結果

### (1) 身体機能維持活動の充実

作業療法士を中心としたプロジェクトチームがレクリエーションを企画し、利用者個々の身体機能、趣味趣向に合わせたプログラムを実施した。月一回の継続的な実施により、利用者の得意、不得意なことの再確認や新たな一面の発見につながり、新たな活動の確立ができた。

### (2) 緊急時対応の再検証

常に持ち歩ける緊急時対応マニュアル（誤飲誤嚥・嘔吐・熱中症・発作・AED など）を作成した。また、実際にマニュアルが機能するののかの実証訓練を実施し、マニュアルの修正や職員の動きの確認を職員全体で実施した。これにより、緊急時の対応は職員が連携し合い、スムーズに対応することができた。

### (3) 職員再研修の仕組みの構築

新任だけではなく、全職員を対象に習得度評価の再実施を行った。個々の業務の現状把握と目標設定を行い、お互いが教え合い、支え合える環境を設定した。職員主催の定期的な研修は、現場の要望に沿った内容で実施したことで、すぐに実践で活かすことができ、支援の統一や支援レベルの底上げをすることができた。

## 3. 事業概要

### (1) 設置の目的

中野区が設置する「社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会 中野区立かみさぎこぶし園（以下「事業所」という）が行う指定生活介護の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保する為に人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の従業員が、利用者に対して、適正な指定生活介護を提供することを目的とする。

### (2) 名称及び所在地

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区立かみさぎこぶし園
事業所番号	1 3 1 1 4 0 0 0 1 2
所在地	東京都中野区上鷲宮一丁目 2 1 番 3 0 号
電話	0 3 - 5 2 4 1 - 8 1 2 1
ファックス	0 3 - 5 2 4 1 - 8 1 2 3
電子メール	kobushi@ikuseikai-kyo.or.jp

HPアドレス	<a href="http://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-kamisagi/">http://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-kamisagi/</a>
--------	---

### (3) 設立

設立年月日	平成6年10月1日
事業開始	平成17年4月1日（指定管理開始日） 平成27年4月1日
事業種別	①障害福祉サービス事業（生活介護） ②東京都重症心身障害児（者）通所事業地域施設活用型（平成28年3月18日 事業開始） ③指定特定相談支援事業（平成27年6月1日 事業開始） ④中野区障害者施設入浴事業 ⑤中野区障害者通所施設利用者時間外タイムケア事業

### (4) 施設の規模

延床面積	1,262.22㎡	鉄筋コンクリート造地上2階建て
敷地面積	1,451.80㎡	

### (5) 職員構成（令和3年3月31日現在）

#### ① 職員構成

常勤	施設長	1名	非常勤	事務員	1名
	事務員	1名		支援員	8名
	看護師	2名		看護師	3名
	主任支援員	1名		理学療法士	4名
	支援員	15名		作業療法士	1名
嘱託医				6名	
				指導医	1名
合計		20名	合計		24名
合計		44名			

#### ② 職員人事

事由	日付	職種	氏名	備考
異動 (転)	令和2年4月1日	常勤支援員		清瀬育成園

入)				
異動 (転 入)	令和2年4月1日	常勤支援員		高砂福祉館
退職	令和2年5月31日	非常勤事務員		
退職	令和2年8月31日	非常勤支援員		
異動 (転 出)	令和2年9月1日	常勤支援員		レインボーハ ウス明石
退職	令和2年9月31日	常勤支援員		
採用	令和2年11月24 日	非常勤支援員		
退職	令和2年11月30 日	常勤支援員		
採用	令和3年1月1日	常勤支援員		
採用	令和3年1月1日	非常勤支援員		
採用	令和3年2月1日	常勤支援員		
採用	令和3年2月15日	非常勤支援員		
採用	令和3年2月25日	非常勤支援員		
退職	令和3年3月31日	常勤支援員		
退職	令和3年3月31日	非常勤支援員		

(6) 利用者状況

① 利用対象者

ア. 利用対象者

当施設事業の障害福祉サービス受給者証を有する方。

イ. 定員 (令和3年3月31日現在)

定員	45名	現員	43名
----	-----	----	-----

※東京都重症心身障害児（者）通所事業においては、1日の定員を5名とする。しかし、日々の通所者が定員を超えないように日々定員を導入する。

② 性別・年齢構成（令和3年3月31日現在）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性	0名	7名	8名	4名	3名	22名
女性	0名	5名	7名	8名	1名	21名
合計	0名	12名	15名	12名	4名	43名

※平均 男性 35.1歳 女性 35.6歳 全体 35.6歳

③ 障害程度（令和3年3月31日現在）

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1度		5名					1名	6名
2度	18名	8名	5名	1名	2名			34名
3度								0名
4度								0名
無し		3名						3名
合計	18名	16名	5名	1名	2名	0名	1名	43名

※車椅子利用者 常時17名（他に外出時等に利用6名）

④ 障害支援区分（令和3年3月31日現在）

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0	0	8	9	26	43

⑤ 入園前の状況（令和3年3月31日現在）

状況	在宅	特支卒業	他通所施設	入所施設	合計
人数	3名	33名	6名	1名	43名

⑥ 保護者状況

両親	父	母	兄妹	伯・叔父母	成年後見等
32人	1人	9人	0人	1人	0人

## 4. 事業実績

### (1) 生活介護

#### ① 日常生活支援

1階フロアは身体的配慮を行いながらの機能維持活動が中心となった。2階フロアは個々にあった身体を動かすプログラムや作業を提供し、テーブル拭きやタオルを畳むなど生活の質の向上を行った。

ア. 個別の週間プログラムを作成し、その日の体調に合わせた活動を提供した。

イ. スヌーズレン、アロマセラピー、ハンドマッサージ、エアポリン、足浴等、感覚刺激を取り入れた支援を行った。

ウ. 日常生活を向上させるための取り組みとして、テーブル拭きや洗濯物、施設の清掃などを利用者と共にを行った。

#### ② 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域交流や外出を通じた社会生活の充実は図れなかった。しかしながら、新たな生活様式に慣れていくためにも、近隣散歩時やクッキーの納品時には、積極的なマスクの着用を行い、社会状況に添った支援を行なった。

グループ お楽しみデー	外出の提供ではなく、施設内でのイベントに切り替えて実施。
グループ外出	外出の提供ではなく、施設内でのイベントに切り替えて実施。

実施月	お楽しみデー・グループ外出 内容
7月	ストラックアウト大会。お取り寄せスイーツを堪能。
11月	最寄り駅付近でデザートを購入、スクリーンで映画鑑賞。
12月	最寄り駅付近でデザートを購入、スクリーンで映画鑑賞。
1月	エステサロン風リラクゼーション。職員によるライブ演奏。

#### ③ 健康維持・体力作り

利用者のニーズと状況に合わせて運動の機会を提供した。PT、OT と連携して機能維持を目的としたストレッチ、運動や気分転換を目的としたバス利用による広い公園や近隣等の散歩も同時に行った。

#### ④ 作業

作業療法士と連携しながら、活動内容の見直しや作業への参加方法を工夫した。利用者個々のプログラムを組み、生活力向上の為の取り組みとして、テーブル拭きや洗濯物、施設の清掃なども行った。

クッキー作り	プレーン、ココア、紅茶、抹茶、ゴマの販売
紙すき	牛乳パック再生はがきの作製
リサイクル	アルミ缶回収、つぶし
革	ストラップ、大きな刻印のキーホルダー
アロマソープ	ほのかに香るアロマソープの作製
トートバック	ステンシルを用いた手染めトートバックの作製

#### ⑤ 作品

創作活動、作業で作製した作品は、施設内にて「こぶしギャラリー」として展示した。クッキーに関しては、中野区社会福祉協議会にあるスマイル喫茶でも販売を行っている。

#### ⑥ クラブ活動

運動、音楽、美容健康、買い物の4つのクラブから選択し、午前中に開催。年間を通して固定のクラブに参加するのではなく、利用者の希望に合わせて複数のクラブに所属出来るようにし、色々なクラブに参加する機会を設けた。

#### ⑦ 宿泊旅行

利用者の社会経験、余暇活動としての楽しみの機会や、家族と離れて過ごす経験として、年6回（利用者一人1回）1泊2日の宿泊旅行を計画した。新型コロナウイルス感染症の影響により、実施することが出来なかった。

#### ⑧ 自治会活動(こすもす会)

利用者が自分たちで行事・レクリエーションを企画・運営し、施設運営についても話し合うことができるよう、自主的な活動を支援した。

⑨ 日課・週間予定

	月	火	水	木	金
9:30	送迎バス到着 更衣・排泄・水分補給				
10:00	ニーズ別活動		クラブ活動	グループ又は ニーズ別活動	
12:00	食事・片付け・歯磨き・お昼休				
13:30	ニーズ別活動		グループ又は ニーズ別活動		
14:45	帰宅準備・グループ別ミーティング				
15:30	送迎バス出発				

⑩ 年間活動・行事

開催月	行事名	内容
4・5・6 7・8・9 月	宿泊旅行	TDL、鎌倉、埼玉、軽井沢の4コースで希望を取り宿泊を実施予定だったが中止。
6月	幼稚園交流	近隣幼稚園と交流し、作業を一緒に行い、園児が障害のある人と親しむ機会としていたが中止。
7月	地域交流会	地域住民へチラシを配り、障害の理解や施設を知ってもらう機会としていたが中止。
10月	こぶしフェスティバル	スマイルをテーマに地域祭りと共に催す予定だったが中止。代替として施設内でプチフェスティバルを実施。
3月	納め会	年度の最後のイベントとして、各グループでイベントを実施。

(2) 東京都重症心身障害児(者)通所事業

月2回の指導医検診により、利用者健康状況の確認、看護師、支援員への助言、指導、連携の強化を行うことができた。また、職員対象の研修会を行い、重症心身障害に対する基礎知識、技術の向上につなげた。

### (3) 指定特定相談支援事業

#### ① 目的、基本方針

障害者に対して、適正な計画相談支援を行うことを目的とした。利用者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、関係市区町村・地域の保健・医療・福祉サービス機関等との連携を図り、総合的なサービス提供に務めた。その提供する計画相談支援の評価を行い、常にその改善を行った。

#### ② 利用対象者

かみさぎこぶし園通所利用者を中心に支援を行った。

#### ③ 相談窓口の時間・開所日

毎週木曜日 国民の祝日・休日 12月29日～1月3日を除く

#### ④ 利用者数

- ア. 新規計画作成件数 0件
- イ. 更新 23件
- ウ. モニタリング 24件
- エ. サービス担当者会議 0件

#### ⑤ 事業内容

- ア. サービス等利用計画の作成
- イ. サービス等利用計画作成後の便宜の供与（モニタリング）
- ウ. サービス等利用計画の変更

#### ⑥ 事業展望

- ア. ご本人の希望する生活・意向に沿った計画を作成するために、気持ち安心マップを活用した。同時に、充実した地域生活を送ることができるよう、関係機関との連携を強化した。
- イ. 障害の高齢化・重度化に伴い生じる生活状況の変化に対して迅速に対応した。

### (4) 中野区障害者施設入浴事業

中野区障害者施設入浴事業実施要綱に準じ、サービスを提供している。

## 5. 権利擁護

### (1) 事業所としての取り組み、方針

法人の理念に基づき利用者一人ひとりの人権と意思を尊重した支援を行った。身体拘束、行動制限の実施については規程、規則通りに対応し、権利擁護もしくは虐待防止委員会を通じて実施し、透明性を確保した。

## (2) 虐待防止委員会

虐待防止委員	委員長 施設長 副委員長 主任支援員 推進責任者 支援員 看護師 家族会代表 家族会会長 ※その他、各グループより1名選出し参加
--------	---

### ① 実施内容

4月1日	権利擁護推進の取り組みについて	18名
5月29日	虐待防止チェックリストについて	21名
7月31日	合理的配慮について	21名
12月25日	虐待防止チェックリストについて	25名

## (3) 苦情解決第三者委員

「利用者・家族から意見や要望が出やすい環境にし、早期に対応できる体制を作る」事を目標に、苦情解決責任者及び苦情解決担当者の配置と窓口の明確化、さらに第三者委員と家族の歓談会を開催して、苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保した一定のルールに沿った方法で解決を進めた。

苦情解決担当者	主任支援員 支援員
苦情解決責任者	施設長
法人苦情窓口	(03) 5389-2600
第三者委員	知的障害者相談員 近隣代表
その他の受付機関	中野区福祉オンブズマン室 (03) 3228-8757 東社協福祉サービス運営適正化委員会 (03) 3268-1148

## (4) 個人情報保護規程・情報公開規程

中野区個人情報の保護に関する条例・育成会個人情報保護、情報公開に関する規程を遵守した。

### (5) 障害者差別解消法対応

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」（厚生労働省）に則り、事業者として、日頃の支援が障害者に対する不当な差別的取扱いとならないよう、必要かつ合理的な配慮を行った。

対応受付担当者	主任支援員
対応責任者	施設長

## 6. 医務

### (1) 健康管理

利用者の重度・重複・高齢化を考慮し、主治医・関連医療機関との連携を密にし、健康で安全な生活が送れるようにする事を目標に行動した。看護師を中心に日々のバイタルチェック、嘱託医の定期的な検診を行った。利用者健康診断結果を踏まえ、支援内容の見直し等を行った。

### (2) 実施体制

診療科等	指導医	内科	歯科	耳鼻科	精神科	外科	整形外科
年間	2 3回	6回	5回	5回	5回	1回	2回

### (3) 感染症予防・対応

かみさぎこぶし園感染症マニュアルに基づいて対応した。感染（インフルエンザ等）が発生した場合は、職員だけではなく、家族、区に連絡をして、感染拡大を防いだ。11月に園でインフルエンザの予防接種（実費負担）を希望者に行った。また、新型コロナウイルスに関しても、区と連携を取り、施設内でのクラスター発生防止のため、入場制限や手洗いうがいの徹底など、最大限の予防対策を実施した。

### (4) 理学療法・作業療法

理学療法士・作業療法士・支援員が緊密に連携し、利用者が作業しやすい環境や用具を作成し、個人に合った作業内容・作業方法を提供した。また、ストレッチなどの直接訓練を行い機能維持、機能低下の防止に努めた。ケース会議や日々の書類のやり取りを通して、支援員に日常的な支援方法についての指導、助言を行ない日中のプログラムで活用した。

### (5) 医療的ケアの実施

中野区医療的ケア実施要綱に準じて医療的ケアを実施した。

## (6) 重症心身障害者支援における医療面の勉強会

園内勉強会を下記内容で行った。重症心身障害者の身体状況の理解を深め、より良い支援につなげた。

日時	令和2年12月12日(木)
講師	心身障害児総合医療療育センター 医師(当園指導医)
テーマ	『側弯について』
参加人数	28名

## 7. 給食・調理

### (1) 実施状況

利用者の現状に合った食形態、食事量、栄養バランスのとれた食事を提供するため、月に1回施設長、委託業者担当、管理栄養士、園給食担当者、看護師で会議を行った。

### (2) 衛生管理

給食の衛生管理は委託業者の基準で行い、年1回、業者の衛生管理担当が巡回検査を行う。また中野区保健所の検査も年1回受けおり、大きな問題の指摘ない。安定して衛生状態を保っている。

### (3) 実施体制

#### ① 委託業者

一富士フードサービス株式会社	東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア11階
----------------	----------------------------------

## 8. 危機管理

### (1) 事故防止・対応

毎日の支援中の「ヒヤリハット」を職員ミーティングで共有している。実際の事故が起きた場合、「事故報告書」で整理し、事故当日に原因と改善点を話し合い、次日の朝礼に報告共有し、一ヶ月後には事故防止策の振り返りを行い、事故防止につなげている。

### (2) 緊急時対応等

「施設緊急時対応マニュアル」を整備して、緊急時対応に備えた。また、外出時に連絡を取ることが出来るように、専用の携帯電話を用意した。さらに、休日は園長または主任と連絡が取れるように専用携帯電話を持って対応した。

### (3) 情報漏洩対策

中野区、法人の各規定に添って対応。中野区とは「個人情報の取り扱いに関する誓約書」を毎年取り交わした。個人情報はすべて職員室内で保管し、必ず施錠をして職員室からの持ち出しは厳禁とした。また、持ち出す場合は、園長（または主任）の許可を得て、台帳に記載した。勤務中の個人携帯電話とインターネット端末等の所持は厳禁とした。

### (4) 特定個人情報管理

特定個人情報は、法人「特定個人情報取扱規程」の則り、管理区域、取り扱い区域を設け、取扱責任者、取扱担当者のみが取り扱い、決められた目的のみに使用した。職員等からの収集番号は、規定に則り、適切な方法で行った。

職 名	氏 名
管理責任者（法人）	法人本部事務局長
取扱責任者	施設長
取扱担当者	事務員

## 9. 防災

### (1) 自衛消防体制

火災や地震による災害の予防対策や避難訓練等を毎月実施した。今年度は新たに、災害時対策組織図や対応フローチャートを作成し、各活動部屋に掲示するなど、基盤の強化を行った。また、近隣に協力を得ることを前提に、地域町会防災部と総合避難訓練を行い災害時に備えた。

### (2) 避難訓練

月	訓練内容	実施内容
4月	消防計画訓練	役割分担・一時避難場所・避難路・消火器設置場所等の確認
5月	地震時避難訓練	地震を想定した訓練を実施
6月	火災時避難訓練	出火を想定した訓練を実施
7月	防災の日訓練	模擬消火器訓練や、防災グッズ体験、防災DVDの鑑賞を実施

8月	火災時避難訓練	出火を想定した訓練を実施
9月	災害時 ハザードマップ確認	緊急連絡先の確認・保護者会にて図 上訓練（広域避難場所確認）
10月	広域避難訓練	地震を想定した訓練、一時避難場所 への移動訓練
11月	起震車訓練	起震車を依頼して大きな揺れを体験
12月	火災時避難訓練	出火を想定した訓練を実施
1月	地震時避難訓練	地震を想定した訓練を実施
2月	避難用滑り台訓練	職員向けの避難用すべり台体験を実 施
3月	避難用滑り台訓練	避難用すべり台を使用した訓練を実 施

### （3）大規模地震・災害対策

大規模地震・天候不良による災害対策は対応策を職員家族へ周知した。緊急時連絡網（電話及びメール）を作成して、職員へ配布した。家族とは終日連絡を取ることが出来るよう、施設長（不在時は主任）が専用の携帯電話を常に所持した。

また、今年度も年2回の地域防災部との合同避難訓練を開催して、障害の理解、職員との連携を深める機会とした。

## 10. 家族（保護者）との連携

### （1）家族連絡会

2ヶ月に1回程度、園内でご家族との情報交換や日々の活動についての報告、最新の制度やサービスの説明、園の運営についてご意見を伺う場としていたが、今年度は来園しての連絡会は実施できなかった。必要な情報に関しては、メールや配布物を使用し情報発信し、園の状況をご家族に随時お伝えした。

### （2）個別支援計画の作成

利用者・家族との電話面談から、希望や意向等を聞き取り、個別支援計

画を作成した。サービス等利用計画との連動を意識し、利用者・家族のニーズ実現に取り組んだ。

### (3) 家族・利用者個人面談

年間2回個別支援計画の策定を目的とした電話面談を行った。内容として、家庭・園での様子や支援内容の希望等を話し合い、日々の支援に活かした。

### (4) 家族との連絡帳

家庭と施設の連携を目的として、毎日連絡帳で連絡を取り交わした。内容としては日々の様子、看護師や各療法士など専門職からの意見を伝えた。必要に応じて電話や手紙での対応も行い、密な連携が取れるようにした。

### (5) 家族連絡会実績

内容	回数
家族連絡会（役員のみ）	1回
グループ懇親会	中止
個別面談（電話）	86回
家庭訪問	24回

## 1.1. 地域との連携

### (1) 地域交流

予定していたかみさぎ幼稚園、上鷲宮小学校との交流も中止となってしまったが、近隣町会へのクッキー販売などを継続することで、地域との関わりを継続した。

### (2) 地域関係団体・事業所との連携

#### ① 地域業者との連携

暮らした地域で長く生活をしていくこと、ご家族の介助負担の軽減を目標に、各種サービスの提案とそれに伴う施設間連携を行った。それにより、家庭の状況把握と状況にあったサービスの提案が出来た。引き続き、短期入所及び緊急一時保護施設を利用時の送迎を行った。

#### ② グループホームバックアップ

地域障害者の居住施設等との連携、利用者状況の把握、緊急時の対応など、臨機応変に対応を行った。

#### ③ 親の会、障害者団体、医師会との連携

中野区愛育会、中野区肢体不自由児者父母の会の定例会に参加して、意見交換を図った。嘱託医・指導医と連携することで、利用者状況の相

談や園内研修を開催することができた。

#### ④ 広報活動

ホームページを二週間に一回程度更新することで、学生や近隣の方、利用者の家族などに施設の様子を伝えた。

## 1 2. 会議・委員会

### (1) 定例会議

月 1 回	各委員会会議	月 1 回	リーダー会議
月 1 回	グループ会議	月 1 回	フロア会議
随時	支援員会議	月 1 回	各業務会議
月 1 回	給食会議	随時	職員会議

定例会議は年間予定に添って行った。今年度の目標を「就業時間内での業務終了」としていた。職員全体が、意識を持って行動し「議題を事前に配布」「時間の配分」等を行い、効率的な会議を持つことが出来た。

### (2) 委員会

#### ① 虐待防止委員会

施設長、主任支援員、看護師、支援員代表 5 名、家族会代表で虐待防止委員会を構成している。身体拘束、行動制限の実施については規程、規則通りに対応し、権利擁護を進める体制を整えている。合理的配慮の基本的な考え方について研修を行い、障害特性に合わせた支援のあり方について職員全体で共有する場とした。また、虐待チェックリスト、小さな出来事一覧を活用し、各グループで支援の振り返りを定期的に行なった。それにより、意見の出しやすい環境が整備され、不適切な支援や虐待の芽を早期に発見、虐待を未然に防ぐことにつながった。

#### ② 事故防止委員会

施設長、主任支援員、看護師、支援員代表 5 名で事故防止委員会を構成している。事故報告書の書式変更や事故分類フローチャートの更新などを委員会が中心となって行った。それらの取り組みが、事故原因の明確化、対応策の具体化につながった。また、事故報告手順を明確に示したことで細かな相談や報告が増え、事故について職員全体で共有しようという意識改革にもつながった。

### 1 3 . 研修計画・大会参加

#### (1) 研修実績

##### ① 育成会関係

6月26日	法人主催 ハラスメント研修	29名
9月30日	育成会新任施設長研修	1名
10月2日	育成会新任施設長研修「特別講演」	1名
10月12日	初級中堅研修	3名
10月13日	人事考課研修～中級編～	1名
10月27日	事務担当者勉強会	1名
12月8日	人事考課研修～初級編～	1名

##### ② 中野区関係

12月1日	感染対策講座	1名
12月2日	中野区第2回相談支援専門員研修会	1名
12月10日	虐待講習会「障害者・高齢者虐待事例を通して虐待防止を考える」	1名

##### ③ 東京都福祉保健局

11月10日 11月13日	第1回看護師基礎講座	2名
12月14日 12月15日	第2回看護師基礎研修	2名
3月1日～2日	東京都職向けウイルス性肝炎研修会 コーディネーター養成コースⅡ	1名

##### ④ 東社協関係

3月14日	感情とストレスをマネジメントする	1名
-------	------------------	----

⑤ その他外部研修

8月4日	自閉症支援講座（オンライン）	1名
8月25日～27日 10月19日～20日	東京都サービス管理責任者基礎研修	1名
9月12日	知的・発達障がいのある人の「医療とお金」	1名
10月9日～13日 10月14日～15日 10月26日～27日 11月4日～5日 11月30日 12月10日 1月6日～7日 1月13日～14日	東京都相談支援従事者初任者研修	2名
11月7日	重症心身障害児者の食事支援について	1名
11月11日	過労死等防止対策推進シンポジウム	1名
11月24日	腰痛予防対策講習会	1名
11月24日 1月31日	2020「給与大臣」年末調整セミナー	1名
12月14日	医療関係者のための漢方講習会	2名
12月14日	東京都自立支援協議会セミナー	1名
12月17日	強度行動障害支援アドバンス研修	1名
12月26日	医療的ケア看護師講習会	1名
1月15日	サービス管理責任者更新研修	1名
2月22日	麴町消防署普通救命救急	1名
2月26日	専門医から学ぶー健康観察のポイントー	1名

3月14日	ダウン症研修	1名
8月4日	自閉症支援講座（オンライン）	1名
8月25日～27日 10月19日～20日	東京都サービス管理責任者基礎研修	1名
9月12日	知的・発達障がいのある人の「医療とお金」	1名
10月9日～13日 10月14日～15日 10月26日～27日 11月4日～5日 11月30日 12月10日 1月6日～7日 1月13日～14日	東京都相談支援従事者初任者研修	2名
11月7日	重症心身障害児者の食事支援について	1名
11月11日	過労死等防止対策推進シンポジウム	1名
11月24日	腰痛予防対策講習会	1名
11月24日	2020「給与大臣」年末調整セミナー	1名
12月14日	医療関係者のための漢方講習会	2名
12月14日	東京都自立支援協議会セミナー	1名
12月17日	強度行動障害支援アドバンス研修	1名
12月26日	医療的ケア看護師講習会	1名
1月15日	サービス管理責任者更新研修	1名
2月22日	麴町消防署普通救命救急	1名
2月26日	専門医から学ぶー健康観察のポイントー	1名

3月14日	ダウン症研修	1名
-------	--------	----

⑥ 施設間職員交換研修

12月2日	法人体験研修	1名
-------	--------	----

⑦ 施設内研修

6月30日	記録について（支援記録の書き方）	16名
7月29日	重症心身障害について	12名
8月17日	てんかん発作について	17名
10月28日	こぶし園主催 ハラスメント研修	25名
11月25日	グーグルフォーム研修	20名
11月26日	介助方法研修	20名
12月3日	歩行介助研修	23名
12月17日	手洗い研修	28名
1月26日	緊急時対応訓練	25名
1月27日	腰痛予防対策講座	21名
2月12日	ソーシャルワーク研修	11名
3月13日	健康観察研修	10名
3月19日	PTによるストレッチ体験研修	17名

(2) 職員育成

人事考課を活用し、承認点、不足点を踏まえた上で個々に合わせた指導・アドバイスを行い、意識の向上、スキルアップにつなげた。また施設全体として必要不可欠である医療的ケアの知識についても、指導医と連携し園内にて基礎研修を開催した。

## 1 4. 労務管理

### (1) 職員健康管理

年1回健康診断を受診し、職員各自の健康管理に配慮した。

### (2) 衛生推進体制

衛生推進者	施設長
-------	-----

下記の業務を推した。

- ① 労働者の危険又は、健康障害を防止するための措置に関すること。
- ② 労働者の安全又は、衛生のための教育の実施に関すること。
- ③ 健康診断の実施その他健康の保持増進のための措置に関すること。
- ④ 労働災害の原因の調査及び再発防止対策に関すること。

### (3) ワークライフバランスの推進

事業ごとの業務の見直しを実施し、休憩時間の取得徹底と時間外勤務の削減を実施した。時間外勤務に関しては、職員が計画的に実施する習慣を確立できるよう周知徹底した。

### (4) 次世代育成支援

職員が仕事と子育てを両立させることができ、職員全員が働きやすい環境をつくることによって、全ての職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、当法人の次世代育成支援行動計画に基づき、年次有給休暇の取得を計画的に促進した。

### (5) セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント及びその他のハラスメントの防止

関係職員就業規則等を職員に周知し、ハラスメント防止に努めるとともに、相談窓口についても全体周知し、施設内の目につく場所に掲示した。ハラスメント発生時は、ハラスメント対応マニュアルに基づき、必要な措置を迅速に講じた。

役割	氏名
ハラスメント対応責任者	法人本部事務局長
ハラスメント法人本部相談窓口	
ハラスメント事業所相談窓口	施設長
ハラスメント事業所相談窓口	主任支援員

### (6) メンタルヘルス・ストレスチェック制度

法人が契約している無料相談窓口「東京メンタルヘルス・カウンセリン

グセンター」のパンフレットを職員に配布し周知した。また、2月にはストレスチェックを実施した。

## **15. 指導・監査等**

### **(1) 福祉サービス第三者評価**

平成30年度に「特定非営利活動法人 NPO 専門職ネット」に評価を依頼し、実施している。令和2年度は、利用者、家族に対し「利用者満足度調査」を行っている。結果については職員全体で共有し、日々の支援の見直しを行っている。

### **(2) 東京都指導検査**

毎年公表される「指定障害者施設等 指導検査基準」をもとに、施設が適正に運営できているかを確認し改善を行った。